

平成 24 年 3 月 8 日

報道関係各位

三井不動産株式会社
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

東京ミッドタウンが「アート」と「デザイン」の 2 部門で次世代を担う才能を発掘・応援
「Tokyo Midtown Award 2012」開催決定
アートコンペ「都市」(5/17～6/7)／デザインコンペ「安心」(7/5～8/2)をテーマに作品を募集
開催 5 回目を迎え、受賞後のアーティスト・デザイナー支援を強化

今年開業 5 周年を迎える東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、次世代を担うアーティストやデザイナーの発掘・応援を目的とした「Tokyo Midtown Award 2012」を、＜アートコンペ＞と＜デザインコンペ＞の 2 部門で開催いたします。

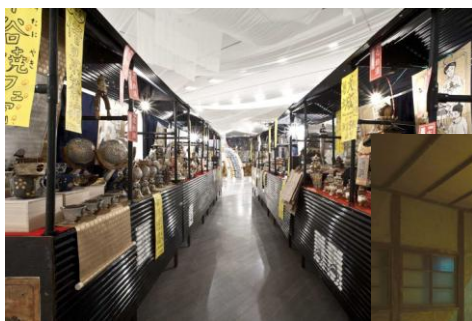
東京ミッドタウンは、開業以来、『“JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)”を創造・結集し、世界に発信し続ける街』をコンセプトに街づくりを進めてきました。「Tokyo Midtown Award」は、その一環として 2008 年より毎年開催しているアート及びデザインのコンペティションで、今回で 5 回目の開催を迎えます。

過去 4 回の開催で、延べ応募者数約 5 千組の中から、アートコンペでは 15 組、デザインコンペでは 37 組の受賞者が生まれ、活躍の場を広げています。東京ミッドタウンでは、「Tokyo Midtown Award」開催 5 回目という節目を迎えるにあたり、若手の登竜門となるべく受賞アーティスト・デザイナーにさらなる活躍の場をご提供できるよう、コンペティション後の支援を強化していきます。

すでに決定している施策としては、デザインコンペ受賞者に対しては引き続き商品化サポートを実施する他、海外デザインイベントへの視察や、東京ミッドタウンのイベントでの館内装飾デザイン起用、商業の販売促進プロモーションでのデザイン起用等、様々な場面で活躍の場を創出していきます。

また、アートコンペ受賞者の作品発表の機会として、歴代受賞作家全 15 組の作品を集めた展示「ストリートミュージアム」(3/24～4/8)を実施します。

なお、「Tokyo Midtown Award 2012」各コンペの受賞作品発表・授賞式は、2012 年 10 月下旬に行う予定です。今年も、次世代を担う才能あふれるアーティスト・デザイナーに出会えることを楽しみにしています。



▲「ストリートミュージアム」
展示作品イメージ



▲商品化が決定した「節電球」
(「Tokyo Midtown Award 2011 デザイン
コンペ」東京ミッドタウン特別賞受賞作品)

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

【本件取材に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

東京ミッドタウン PR担当
TEL:03-3475-3141 / FAX:03-3475-3144 (東京ミッドタウンマネジメント株式会社)

テーマ／応募概要

部門	アートコンペ	デザインコンペ
主催	東京ミッドタウン	
URL	http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/	
協力	TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE	東京ミッドタウン・デザインハブ
後援		Hong Kong Design Centre(※1)
テーマ	「都市」 東京ミッドタウン内プラザ B1F「メトロアベニュー」。東京ミッドタウンから乃木坂方面へ向かうこの長い通路は、多くの人が様々な目的で行きかう、東京ミッドタウンを代表するパブリックスペースの 1 つ。ここを舞台に、あなたにしかできない「都市」のアートを表現してください。 (展示サイズ①: 約 H250 × W300 × D200cm) (展示サイズ②: 約 H400 × W500 × D70cm)	「安心」 東京ミッドタウンが憲章に掲げるミッションの1つであり、現代社会でより一層重要性を増す「安心」。都心の日常生活に役立つ「安心」をデザインしてください。
提出物	ジャンルは問いません。但し未発表作品案に限ります。	
応募資格	1. 個人またはグループ (1 グループ 1 作品案まで) 2. 国籍は問いません 但し、審査・設営にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること 3. 応募書類提出時点で 39 歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと	1. 個人またはグループ 2. 国籍は問いません 但し、展示準備期間(9月上旬～10月中旬)に日本に在住または滞在していること 3. 応募書類提出時点で 39 歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと
応募期間	2012 年 5 月 17 日(木)～6 月 7 日(木) 必着	2012 年 7 月 5 日(木)～8 月 2 日(木) 必着
応募方法	応募用紙に記入のうえ、事務局あてに郵送いただきます。 ※応募用紙・募集内容詳細は、2012 年 3 月 24 日(土)に、東京ミッドタウンオフィシャルサイト(http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/)からダウンロード可能になる予定です	
審査方法	<u>1 次審査(7/9(月))</u> 提出書類による審査 通過者のみ書面にて通知 <u>2 次審査(7/30(月))</u> 模型および面接審査: 入選作品(6 点) 決定 ※報道関係者、一般向けに公開審査をいたします <u>最終審査(10/15(月))</u> 入選者完成作品審査: 各賞を決定	<u>書類審査(8/23(木))</u> 提出書類による審査で各賞を決定 <u>意匠権調査(9月上旬)</u> 意匠権調査後、入賞者にのみ書面にて通知
※授賞式は 2012 年 10 月下旬に開催予定		

審査員	児島やよい (フリーランス・キュレーター／ライター) 清水敏男 (東京ミッドタウンアートワークディレクター ／学習院女子大学教授) 土屋公雄 (彫刻家／愛知県立芸術大学大学院教授) 中山ダイスケ (アーティスト／東北芸術工科大学教授) 八谷和彦 (メディア・アーティスト ／東京藝術大学准教授)	小山薫堂 (放送作家／東北芸術工科大学教授) 佐藤 卓 (グラフィックデザイナー) 柴田文江 (インダストリアルデザイナー) 原 研哉 (グラフィックデザイナー ／武蔵野美術大学教授) 水野 学 (アートディレクター)
賞	グランプリ(1点) : 100 万円 準グランプリ(1点) : 50 万円 入選(4点) ※入選作品 1 点につき制作補助金 100 万円支給 ※賞金総額 : 750 万円(制作補助金含む) ※各賞については「該当なし」となる場合があります	グランプリ(1点) : 100 万円 準グランプリ(1点) : 50 万円 優秀賞(1点) : 30 万円 審査員特別賞(5点) : 各 5 万円 ☆グランプリ受賞者を、香港で開催される「Business of Design Week 2012」(12/3～8) (※2)へご招待します ※賞金総額 : 205 万円 ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※入賞作品は、商品化に向けたサポートを行います

※1 デザインコンペ後援機関 : Hong Kong Design Centre(HKDC)について

香港デザインセンター(HKDC)とは、香港特別行政区政府、香港ジョッキー・クラブの全面的な支援を受け、2001 年に香港で発足した独立非営利団体。「デザイン」と「イノベーション」を通して社会的幸福を促進することを使命とし、香港をアジアの優れたデザイン拠点として確立することを目的としています。

※2 デザインコンペグランプリ受賞者ご招待、海外デザインイベント視察先

: Business of Design Week(BODW)について

香港デザインセンターが主催するアジア最大の総合デザインイベント。社会やビジネスにおいてデザインが重要になるという考えに基づき、革新的で優れたデザインを振興するとともに、デザイナー達に活力を与える場を提供しています。アジア市場でデザインによって商業的成功をおさめた企業に対して授与される「アジアデザイン賞(DFAA)」も選定します。

参考: <Tokyo Midtown Award 2011 グランプリ受賞作品>

アートコンペ:テーマ「都市」



受賞作 : 『frames of emptiness』
 受賞者 : 山本 聖子(やまもと せいこ)

デザインコンペ:テーマ「5」



受賞作 : 『縁起のいい豚貯金』
 受賞者 : 藤本 聖二(ふじもと せいじ)

■「Tokyo Midtown Award」 シンボルマークについて

東京ミッドタウンを舞台に多くの才能が羽ばたいていくことを期待し、様々な才能が出会い・交差する、ハートに囲まれた才能の交差点を表現しています。



※過去の「Tokyo Midtown Award」の開催概要・受賞作品については、下記 URL をご覧ください。

<http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

受賞アーティスト・デザイナー支援活動

アートコンペ

■アートコンペ歴代受賞作家 15 組の作品を集めた特別展示「ストリートミュージアム」開催

3月30日(金)に東京ミッドタウンが開業5周年を迎えることを記念して、3月24日(土)から4月8日(日)の期間、「Tokyo Midtown Award」アートコンペ歴代受賞作家 15 組の作品を集めた特別展示を実施。インスタレーション、彫刻、映像、アニメーションなど様々な形式の作品が東京ミッドタウンに集結します。

東京ミッドタウンから羽ばたいた若い才能を是非ご覧ください。

【期間】 3月24日(土)～4月8日(日)
 【場所】 プラザ B1F メトロアベニュー
 【主催】 東京ミッドタウン

【出展作家及び作品】

No	作家名	作品名	Tokyo Midtown Award受賞歴・作品名
1	梶本桂子	「町／器／町」、「岩清水／壺」	2008年準グランプリ(※同年グランプリなし) 「pottery」
2	小松宏誠	「今、彼方より風向きを。」	2008年佳作 「求愛しつづける時計」
3	太湯雅晴	「The worker in Tokyo Midtown」	2008年佳作 「ASIAN NOTE」
4	藤井秀全	「Stain "Droop"」	2009年グランプリ 「Stain "Expanse"」
5	福本歩	「フクモ陶器 春の六本祭り」	2009年準グランプリ 「六本木未来骨董 フクモ陶器」
6	山本麻璃絵	「丸型ポスト」、「シャンプー リンス」	2009年佳作 「自動販売機のある風景」
7	平田創	「Funky Project 2012 Nanairo Colors」 「Funky Project 2012 Nanairo Colors Live Performance」	2009年佳作 「Funky Project 09 Japan Colors」
8	きのしたがく	「セピア色のとけい」他	2010年グランプリ 「春夏秋冬東京動画絵巻」
9	牧野永美子、山崎裕治	「純情のこみち」	2010年準グランプリ 「あのある木」
10	石山和広	「うつしかえすもの」	2010年佳作 「es.kei.wai」
11	井口雄介	「Lightning case」	2010年佳作 「その先にあるもの」
12	山本聖子	「空白の果実」	2011年グランプリ 「frames of emptiness」
13	木村恒介＋山崎連基	「景色の断片」	2011年準グランプリ、東京ミッドタウン特別賞 「みえない景色」
14	米元優曜	「Stream-Line」	2011年優秀賞 「REC・NOW」
15	栗真由美	「シロノカラ 一旅立ちー」	2011年入賞 「builds crowd」

■ストリートミュージアム展示作品（一部抜粋）



【作品名】:「町/器/町」(写真上)「岩清水/壺」(写真下)

装飾と器という境界をこえた面白いかたちを探る作品。「町/器/町」では装飾モチーフとして町を、数種の器と合体させています。また、「岩清水/壺」では岩清水をモチーフとして、実際の水を使い、噴水のようにインスタレーションします。



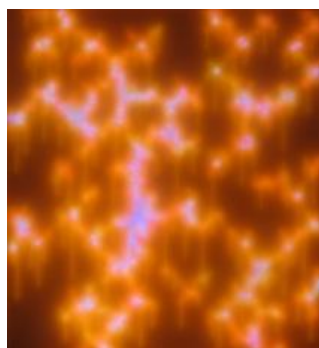
【作家】: 榎本桂子(ますもとけいこ) / 美術家

(2008 年度準グランプリ受賞者 ※同年グランプリなし)

1982 年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院修士課程陶磁器専攻修了。陶芸の技法を用い、装飾と器という境界をこえたオリジナリティーあふれる作品で知られる。近年 INAX ギャラリーや兵庫県立美術館でも個展を開催、陶芸の世界に新たな息吹をふきこんでいる。

【作品名】:「Stain “Droop”」

光が空間や身体に浸透していく感覚を「光の染み」として表現しています。光が画面上で広がり、まじりあいながら「染み」のように像を成し、画面を越え、形を失いながら、空間や身体に浸透していく作品です。



【作家】: 藤井秀全(ふじいひでまさ) / アーティスト(2009 年度グランプリ受賞者)

1984 年奈良県生まれ。京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修了。

視覚認識の媒介となっている「光」をLEDや偏光板を用いて可視化・物質化することで「光」自体の存在を認識できる形に変換する実験的な作品制作に挑んでいる。



【作品名】:「セピア色のとけい」他

時計職人の父と幼い娘の心の歯車のお話です。戦争に行ってしまう父は少女の為に成長を祝うプレゼントを残します。遠く離れていても、言葉にできなくても、人の思いはつながる。そんなメッセージを込めたアニメーション作品を展示します。

【作家】: きのしたかく / アニメーション作家(2010 年度グランプリ受賞者)

1977 年東京都生まれ。Central Saint Martin's College of Art and Design にて学士、Royal College of Art にて修士。アニメーション作家として、さまざまなアニメーションを手がける。やさしくあたたかな手描きのアニメーションで、数多くの賞を受賞。

【作品名】:「空白の果実」

物件広告の間取り図を組み合わせた、彫刻作品です。

「2 つに割れた内にひそむのは、空白の集積であり、それは二次元と三次元のはざままで浮遊する、所在なき果実である」



【作家】: 山本聖子(やまもとせいこ) / 美術家(2011 年度グランプリ受賞者)

1981 年大阪府生まれ。京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修了。

物件広告の「間取り図」をもちいて、「内と外」「存在すること」について表現している。「VOCA 展 2011」等多数の展覧会に出展。

デザインコンペ

■2011 年度「東京ミッドタウン特別賞」受賞作品「節電球」の商品化が決定

東京ミッドタウンは、「Tokyo Midtown Award」デザインコンペの入賞作品を商品化するためのサポートを行っています。過去 4 回の実施で、すでに計 4 作品が商品化、全国各地のセレクトショップなどで販売され、話題を呼んでいます。

今春、2011 年のデザインコンペで「東京ミッドタウン特別賞」を受賞した「節電球」が、5 作品目の商品として発売されることが決定しました。デザインコンペの受賞作品は、今後も商品化に向けたサポートを行っていきます。



【商品名】節電球

【価格】1,200 円(予定)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2011 デザインコンペ」東京ミッドタウン特別賞

【発売開始】2012 年 6 月(予定)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」ほか

【商品概要】

節電球は1日分のあかりを灯してくれるロウソクです。
溶けてゆく節電球が、節電量を視覚的に教えてくれます。
節電球を1つ使うことで、1日分の電気を節約できます。

※デザインコンペテーマの「5」を、「5 時間燃焼し続けるロウソク」で表現した作品。商品化にあたり、燃焼時間が 1 日となりました。

■デザインコンペ 過去の商品化作品



【商品名】富士山グラス (フジヤマグラス)

【価格】3,776 円(税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞
(水野学賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」
「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

世界中どこにいても日本を意識できる、ドリンクを注ぐと富士山ができてあがるグラス。赤富士や黒富士など注ぐものによって様々な表情を見せます
審査員・水野学氏デザインの桐の木箱入りで豪華な仕様です。



【商品名】okokoro tape (オココロ テープ)

【価格】525 円(1 個・税込) / 1,029 円(3 個セット・税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞
(小山薫堂賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

日本人の謙虚な心をメッセージ化し「つまらないものですが」と書かれたマスキングテープ。簡単に剥がし貼りが可能です。



【商品名】さくら石鹸

【価格】1,575 円(税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」

一般の部 グランプリ・東京ミッドタウン・オーディエンス賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」「THE COVER NIPPON」

【商品概要】

さくらの花びらに見立てた薄紅色の石鹸。
湯船に浮かべれば春爛漫の爽やかな雰囲気になります。

＜補足資料＞



【商品名】くつくつした

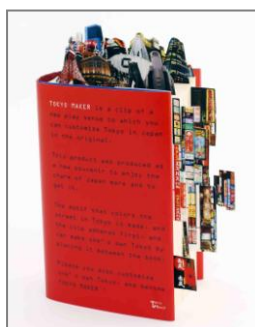
【価格】1,260 円(税込)～

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞
(内藤廣賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」他

【商品概要】

「靴を脱いであがる」という日本の文化を具現した靴をデザインした靴下。
財団法人日本産業デザイン振興会主催「2009 年度グッドデザイン賞」
(G マーク)を受賞しました。



【商品名】TOKYO MAKER (トウキョウ メーカー)

【価格】未定 (付箋紙 4 種～)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2009 デザインコンペ」学生の部 グランプリ
東京ミッドタウン・オーディエンス賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」
「THE COVER NIPPON」(予定)

【商品概要】

東京の風景や名所をモチーフにした付箋紙。様々な東京の風景を書籍に
挟むことで、自分だけの“オリジナル東京”をつくることができます。東京観光
の新たなお土産に最適の商品です。

※この商品はまだ販売しておりません